# 2/27(日) 冬季子規塾 参加者募集

2/25まで

【日時】2月27日(日) 14～16時
【会場】子規記念博物館（道後公園）
【テーマ】国語で俳句を教えるの―正岡子規から池田澄子へ

橋本　直さん

池田　澄子さん

【内容】俳人・橋本直（すなお）さんによる講演「子規 教科書に載る」▼俳人・池田澄子さんによる講演「子規と私の関係」▼池田さんと橋本さんの対談「『俳諧大要』から現代俳句へ」（司会＝俳人・佐藤文香さん）
【定員】400人（先着順）
【料金】無料（ただし受講券が必要）
【申し込み】2月25日(金)までに直接または電話、eメールで住所、氏名、参加人数を(教)子規記念博物館「冬季子規塾」係へ

お問い合わせは、(教)子規記念博物館☎931-5566・FAX934-3416へ　eメール sikihaku@lesp.co.jp へ

# 参加者募集 みんなの松山 わいわいトーク

**職員が市民の皆さんの集まる場に出向き、テーマに沿った市政の取り組みについて説明するとともに、皆さんと意見交換を行う「みんなの松山わいわいトーク」への参加者を募集しています。**

今年度は、9分野（市政、福祉と健康、水と環境、まちづくり、生活と防災、教育・文化・スポーツ、観光と産業、議会と選挙、子ども版）100テーマです。詳しくは市ホームページ、所定の申込書（市民参画まちづくり課（市役所本館9階）・市役所本館1階案内所・支所・公民館・市ホームページにあり）をご覧ください。

【期間】1月5日(水)～2月28日(月)
【時間】月～金曜日＝9時30分～21時30分▼土・日曜日、祝日＝9時30分～18時
※1テーマ2時間以内。子ども版は9時30分～18時の間で1時間程度
【対象】おおむね10～30人程度で市内に在住または通勤・通学している人。子ども版は保護者代表の同席が必要
【場所】申込者が市内の会場を準備（会場料などは自己負担）
【申し込み】開催希望日の2週間前（消印有効）までに、直接または郵送、ファクス、eメールで申込書を〒790-8571市民参画まちづくり課 eメール simin seikatu@city.matsuyama.ehime.jp へ

お問い合わせは、市民参画まちづくり課☎948-6330・FAX934-3157へ

ビデオを使うなど分かりやすく説明

# 地域見守る「青パト」活動中！

警察署員らに見送られて出発する青パト隊

パトロール出発前に激励を受ける隊員ら

**知っていますか？「青パト」**

「青パト」の正式名称は「青色回転灯装備車」。警察に申請し、自主防犯パトロールを適正に行えると認められた団体が、車両に青色回転灯を付けて巡回しています。

巡回中は、警察から「パトロール実施者証」を交付された隊員が乗車します。市内には現在213台の青パトが巡回。自分たちの地域は自分たちで見守り、安全・安心なまちにしたいとボランティアで活動しており、徐々に地域に根付きつつあります。

**募集中！「青パト」団体・隊員**

パトロール実施団体や、既に実施している団体の隊員を随時募集しています。希望する団体・個人は最寄りの警察署にお気軽にご相談ください。

## 青パト隊員の声

**やりがい感じます**

清水地区防犯パトロール隊
村上　建一 代表

活動中に停車していると住民から「ご苦労さん」と声を掛けてもらうことがあり、やりがいを感じます。皆さんの地域でも「青パト」を始めてみませんか。

お問い合わせは、市民参画まちづくり課☎948-6736・FAX934-3157へ

# 坂の上の雲のまちをラッピングでPR

道後温泉駅を出発するラッピング市内電車

ドラマの登場人物が描かれたラッピング列車を見送る野志市長（左端）ら

「明治体感『坂の上の雲』のまち松山を訪ねて」をテーマに松山の魅力を紹介した特急「しおかぜ」のラッピングデザインがリニューアルされ、平成22年12月5日、JR松山駅で出発式がありました。また同12日には、スペシャルドラマ館や集客パートナー都市・横須賀市の観光施設などを紹介したラッピング市内電車の出発式が伊予鉄道 道後温泉駅前でありました。

列車は12月31日まで、市内電車は12月11日まで運行予定です。

お問い合わせは、観光産業振興課☎948-6558・FAX934-1764へ

# 地域で育つ松山っ子

## 第5回 新玉小学校

児童数　男242人・女251人・計493人（平成22年12月1日現在）

本校は、総合コミュニティセンターの西隣にあり、校区内にはJR松山駅や、本堂が国宝に指定されている大宝寺などがあります。今年度も、生活科・総合的な学習の時間・学校行事などで、それらを生かしたさまざまな活動を行っています。

〝ふるさと新玉〟を愛する気持ちを養うため、1年生はレンゲ畑で地域の人たちとの交流、2年生は校区の探検、3年生は福祉施設との交流、4年生は福祉施設などの協力で実施しています。公民館や商店、施設などの協力で実施しているこれらの活動を通して、子どもたちは新玉の魅力を発見して、異文化理解や平和学習に取り組んでいます。

えひめグローバルネットワークやベンチャー・アライアンス協会などのNPO法人の協力を得ながらこれらの学習を進め、今年はさらにユネスコスクール登録申請をして、世界とつながる〝新玉っ子〟を目指しています。

駅員さんに仕事内容をインタビュー

## ふるさとを愛し 世界とつながる

本校は、総合コミュニティセンターの西隣にあり、校区内にはJR松山駅や、本堂が国宝に指定されている大宝寺などがあります。今年度も、生活科・総合的な学習の時間・学校行事などで、それらを生かしたさまざまな活動を行っています。

〝ふるさと新玉〟を愛する気持ちを養うため、1年生はレンゲ畑で地域の人たちとの交流、2年生は校区の探検、3年生は福祉施設との交流、4年生は福祉施設などの協力で実施しているこれらの活動を通して、子どもたちは新玉の魅力を発見し、その良さを実感しています。

5年生は学校創立100周年を記念して、魅惑のスイーツ（洋菓子や甘いデザート）開発に挑戦。校区内の洋菓子店の協力で、商品の企画・立案・販売を体験しています。

6年生はアフリカ・モザンビークへの支援・交流を通して、世界とつながる〝新玉っ子〟を目指しています。

洋菓子店のオーナーとスイーツを開発

**松山っ子の声**

校区の探検で、わたしはパン屋さんに行きました。食パンの作り方を教えてもらったのがよかったです。（2年生女子）

ぼくは、チームのみんなとおいしいケーキを考えました。実際の商品にしたいと思っています。（5年生男子）